

鎌ヶ谷市公共施設エコアクションプラン
～鎌ヶ谷市地球温暖化対策実行計画（事務事業）～

令和3年度部署（施設）別取組目標の実施結果について

鎌ヶ谷市エコアクションプラン初年度となる令和3年度に取組目標を設定した58部署（施設）すべてから一年間の取組の実施状況、重点目標の達成度を自己評価してもらいその結果を集計した。

1 評価基準

評価は、A・B・C・Dの4つの区分とした。

A	よく実施できた	(実行率 80%以上)
B	概ね実施できた	(実行率 50～80%未満)
C	あまり実施できなかった	(実行率 20～50%未満)
D	ほとんど実施できなかった	(実行率 20%未満)

2 目標の内訳

照明の適正使用、照明器具の制御システムの導入 など	35件
冷暖房の適正使用、光熱水費の削減 など	20件
時間外勤務の削減	7件
電気使用量の削減、電気機器の適正使用 など	7件
公用車の適切な運行、ガソリン使用量の削減 など	5件
用紙使用量の削減、紙の廃棄量削減 など	8件

※1つの目標の中に複数の項目に関連する内容がある場合には、それぞれカウント

3 部署（施設）別取組結果

別添のとおり

4 目標達成度評価の考察

重点目標の達成度において、A評価は全体の54.5%、B評価は34.8%、C評価は7.6%、D評価は3.0%であった。

よって、実施できたとするA・B評価が全体の89.3%を超える結果となり、昨年度から1.8%減少したものの、各所属では概ね目標通りの取組を実施す

ることができた。

また、C・D評価の部署（施設）の中には、時間外勤務の削減を目標に掲げていたが、やむを得ない業務増加のために照明や電気機器の使用時間が増えた所属がいくつか見受けられた。そのため、時間外勤務をする際に、必要箇所のみ照明を点灯するなどの情報発信を強化して行っていく必要があると言える。